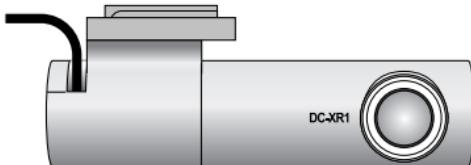


Diletto

ドライブレコーダー
DC-XR1

取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。
製品性能を改善するため、本書の内容を予告なしに変更する場合があります。

本機の設定を変更するには、スマートフォンおよびタブレットの専用アプリが必要となります。

あらかじめスマートフォンおよびタブレットで専用アプリをインストールしてください。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめにお読みください

microSDカードについて(フォーマットとは?)	1	録画ファイルについて	35
安全上のご注意(必ずお守りください)	3	設定画面について	36
使用上のご注意(必ずお守りください)	6	設定メニュー	37
注意事項	7	音声ガイダンス	40
商品構成一覧表	11	トラブルシューティング	41
各部の名称と働き	12	その他	43
microSDカードについて	14	製品仕様	44
取り付けについて	17		
電源オン/オフについて	24		
専用アプリについて	25		
録画について	33		
録画種別について	34		

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHCやmicroSDXCカードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- microSDを「メモリーカード」と呼称する場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

免責事項について

- お客様または第三者者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害また録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED方式の信号機は、録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードは製品の性質上、消耗品であるため、寿命による破損は保証の対象とはなりません。あらかじめご了承ください。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

microSD カードについて

●microSDカードのフォーマットとは?

フォーマットとは、microSDカード内のデータを初期化することであり、長期間、microSDカードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイル断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせずお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSDカードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくため、製品お買い上げ時および1週間～2週間（推奨）おきに定期的なフォーマットをしてください。

※microSDカードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSDカード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSDカードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください



microSDカードは消耗品です。
定期的な新品への交換をお勧めします。



安定してご使用いただくため、microSD
カードを定期的にフォーマットしてください。
※推奨:1週間～2週間ごと

microSDカードのフォーマットについての操作方
法は、P16を参照してください。

●microSDカードの注意事項

- ・付属のmicroSDカードは本機専用です。
- ・本製品使用時は付属のmicroSDカードを使用してください。
- ・本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- ・microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。
- ・安定してご使用いただくため、定期的にmicroSDカードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- ・付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- ・microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- ・microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- ・microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- ・microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- ・microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めて、本体の電源をオフにしてください。
- ・変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- ・本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- ・microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- ・microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- ・あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- ・フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- ・フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ・思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしていけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、
また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルト
やナットを絶対に使用しない

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画像・表示を注視しない

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

- 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

機器の通風孔を塞がない

- 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

DC12/24Vマイナスアース車で使用する

- DC12/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

- 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

- 内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ●を外しておく

- バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

 ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

 雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

 強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

 雷が鳴りだしたら、シガーアダプターに触れないでください。感電の原因になることがあります。

使用上のご注意（必ずお守りください）

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠ 注意

取り付け中はエンジンを切る

⚠ 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがオンの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

⚠ 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります

⚠ ツネル入出時、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜など光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラス、リヤガラスと本機のレンズの表面をきれいにする

⚠ 車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。
ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。

信号機の色を認識できないことがあります

⚠ LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカードの保存容量超えに注意

⚠ 緊急録画で記録された動画は上書きされません。ファイルが増えると、microSDカードの保存容量を超え、録画ができなくなったり、緊急録画できなくなる可能性があります。
必要に応じてファイルを削除してください。

日本国内のみで使用する

⚠ 本機は日本国内のみで使用できます。
海外では使用できません。

注意事項

録画について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がチラつくことがあります、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプやディスプレイを注視しないでください。
- カメラの向きの変更や各種設定を行う場合、周囲の安全を十分に確認した上、必ず、安全な場所で車両が止まっている状態(パーキングギアに入っている状態かつサイドブレーキがかかっている状態)で行ってください。
- 夜間に録画した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変化する場合があります。
- 電源オン後、microSDカード読み込みのため、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずmicroSDカードを保管してください。
- 本機は精密機器となります。下記のようなお取り扱いをすると、録画ファイルが破損する恐れがありますので、十分ご注意ください。
 - ・本体に静電気や電気的ノイズが加わった場合
 - ・水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合
 - ・長時間使用しなかった場合
 - ・スマートフォンやタブレット、パソコンでの操作に誤りがあった場合

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本機の電源がオフとなる可能性があります。
- 車両のバッテリーのコンディションにより、エンジン再始動時に本機の電源が落ちる場合があります。その場合は、車両バッテリーの電圧を確認してください。

注意事項

電波干渉について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 日本国内のみで使用してください。
- 海外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。
- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、サービスセンターに御連絡いただき、混信回避の処置などについてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、サービスセンターへお問い合わせください。

電波法に関する注意について

- 本体の技術基準適合証明ラベルを剥がさないでください。剥がして使用した場合、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用できません。
- 分解したり、改造したりすることは電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

注意事項（つづき）

取り付けについて

- 本書の「取り付けについて」にしたがって、正しく取り付けてください。
→**P17 取り付けについて**
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- 他の車載器や無線機、テレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラ）などに干渉しない場所へ取り付け・配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に、安全装置が正常に動作せず、けがの原因となります。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。また、必ず車内へ取り付けてください。
- カメラを取り付ける前に、必ずガラス面の油分や汚れなどをしっかりと拭き取り、確実に取り付けてください。
- 配線処理は、運転の妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取り回しを行うと、断線や接触不良により動作が不安定になる可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取り回してください。
- 付属品以外のものは使用しないでください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに鮮明に記録できなくなります。
- 本体および各カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。

電源直結ケーブルの配線について

- 電源直結ケーブルは必ず付属品をご使用ください。また、ケーブル等を改造して使用しないでください。
- 接続は本書をよくお読みの上、接続してください。接続を誤ると火災や故障、誤作動の原因になることがあります。

注意事項（つづき）

カメラレンズについて

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり異常ではありません。

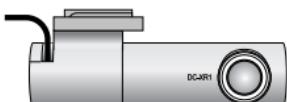
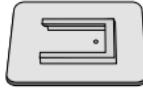
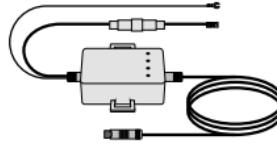
リヤカメラ（オプション品）について

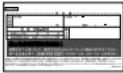
- オプション品のリヤカメラは、本製品専用のリヤカメラとなります。その他の製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- 本製品は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- リヤカメラは本体同様、防水構造ではありません（ケーブル含）。必ず車内へ取り付けてください。
- リヤカメラの配線処理の際、ケーブル類が車両のドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線をすると、断線等が起き、故障や破損の原因となります。

商品構成一覧表

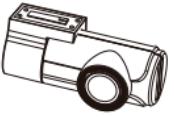
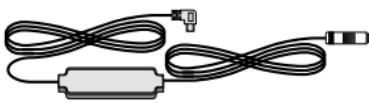
本体および付属品

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。

■ 本体	■ ステー	■ 電源直結ケーブル(約2.5m)
		

■ microSDカード16GB (本体挿入済み)	■ 取扱説明書	■ 保証書
		

オプション品（別途、お買い求めください）

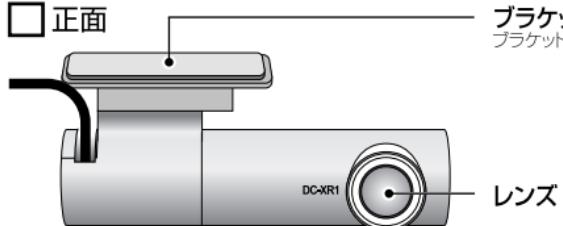
■ リヤカメラ(TM-1)	■ リヤカメラステー	■ リヤカメラケーブル(約6.0m)
		

※別売品について→「P43 その他」を参照ください

各部の名称と働き

本体（フロントカメラ）

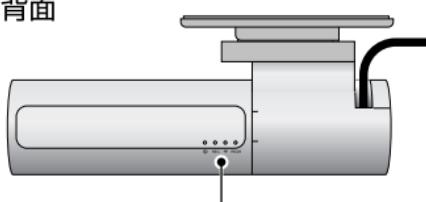
□ 正面



ブラケット

ブラケットをスライドすることで取り外しができます。

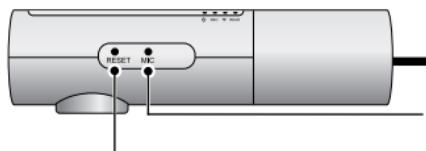
□ 背面



LEDインジケーター

本機の状態をランプでお知らせします。
→「P13 各部の名称と働き」

□ 底面



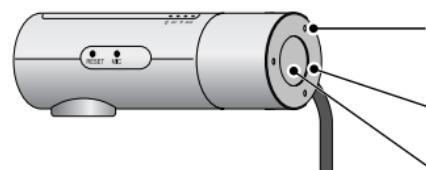
MIC

周囲の音を収集します。

RESETボタン

リセットボタンを押すと、本体システムをリフレッシュさせるため、電源がオフとなります。リセットボタンを押した後は、再度、ACCをオフ→オンして本体電源を入れる必要があります。

□ 側面



トルクスネジ

3箇所のトルクスネジを外す場合、専用のトルクスレンチを使用します。

カバー(蓋)

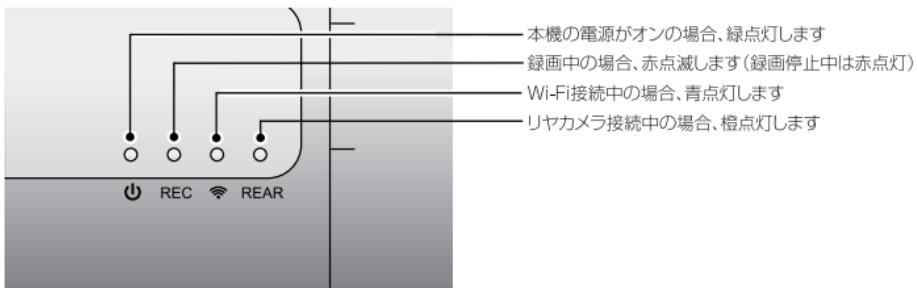
3箇所のトルクスネジを外すと、カバーが取り外せます。

技術基準適合証明ラベル

このラベルは剥がさないでください。剥がして使用すると、電波法により罰せられる場合がありますので、ご注意ください。

各部の名称と働き（つづき）

LEDインジケーターについて



リヤカメラ（オプション）



microSDカードについて



ご注意

**安定してご使用いただくため、
microSDカードを定期的にフォーマットしてください。※推奨1週間**

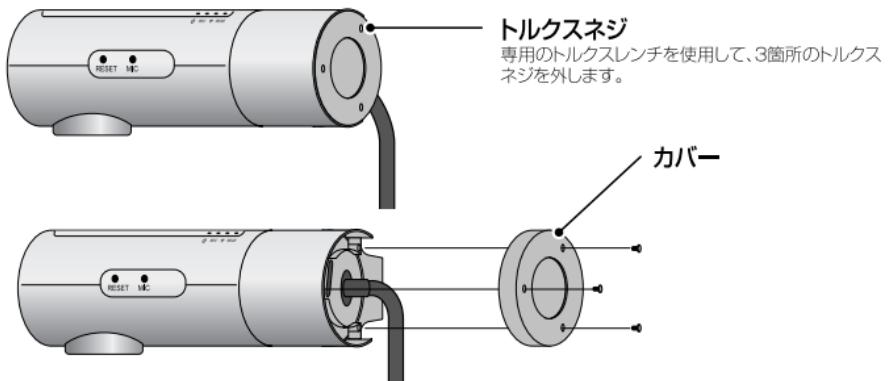
microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットしないままご使用されると、正しく録画ができない場合があります。
- フォーマットする際は、本機によるフォーマットをするか、パソコンでフォーマットをおこなってください。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時は、車のエンジンを止めて、本体の電源がオフになってから取り外してください。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 市販のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販のmicroSDカードについての仕様に関しては、microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんので、ご注意ください。
- 本機は、8GB～64GB Class10のmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。市販品のmicroSDカードを使用された場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。

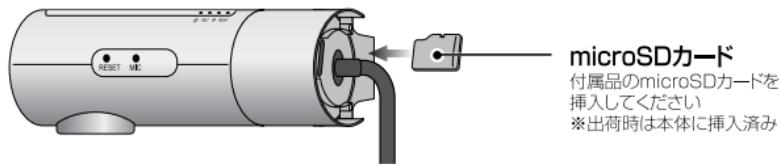
microSDカードについて（つづき）

microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードを挿入/取り出しどうする場合は、専用トルクスレンチで3箇所のトルクスネジを外した後、カバーを外してください。



2. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください



3. microSDカードを取り出す際は、microSDカードを押し込み、microSDカードが少し飛び出してから引き抜きます。

※勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失にご注意ください

⚠ ご注意

- ・ microSDカードを挿入する際は、正しい向きを確認してから挿入してください。
- ・ 付属品のmicroSDカード以外を使用すると、正しく録画ができない可能性があります。
- ・ microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ・ 事故発生時は、記録された映像データが破損しないよう、microSDカードを抜いて、保管してください。

microSDカードについて（つづき）

microSDカードのフォーマット

本製品をご使用になる前に、microSDカードをフォーマット（初期化）してください。フォーマットの手順は下記の通りです。

※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください

1. 同梱されているmicroSDカードが挿入されていることを確認してください。
2. 車のエンジンをオン（ACC ON）して、本体を起動します。
3. 専用アプリでフォーマット操作を行います。

→専用アプリによる各種設定方法について「P37 設定メニュー」



ご注意

- ・ フォーマット操作は、車両が停止している状態で行ってください。
- ・ フォーマット中は本機の電源を切らないようご注意ください。
- ・ フォーマットを行うと、microSDカード内のデータが全て消去されます。大切なデータはパソコンへコピーして保存をしてください。
- ・ 本機でフォーマットができない場合は、パソコン等でフォーマットを行ってください。

取り付けについて

本体取り付け方法

⚠ ご注意

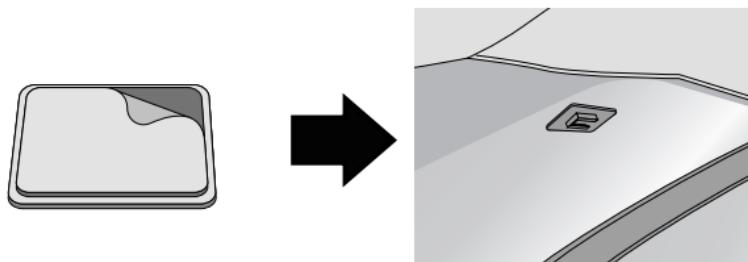
両面テープで本機を固定する前に、必ず専用アプリで映像の確認をしてください。
誤った向きで取り付けた場合、映像が上下逆さまになる可能性があります。

<取付方法>

※あらかじめ、フロントウィンドウの油分や汚れをよく落としてから取り付けてください

1.ステーの両面テープを剥がし、フロントウィンドウに貼り付けます。

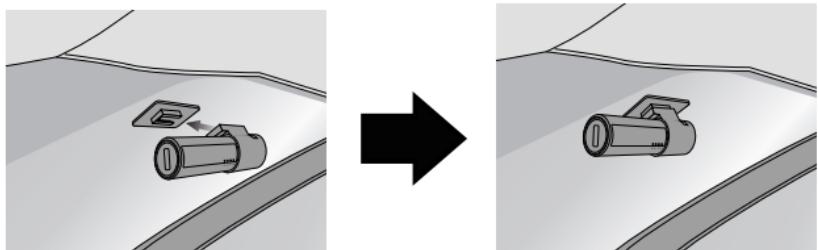
※ブラケットに本体を装着した時に、電源コードが接続でき、カバーが取り外ししやすい場所に取り付けてください。



2.貼り付けたステーに本体を取り付けます。

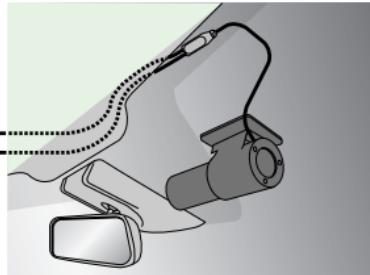
※ステーに対して、本体をスライドしながら取り付けます

※必ず奥までスライドして、ロックされたことを確認してください



取り付けについて（つづき）

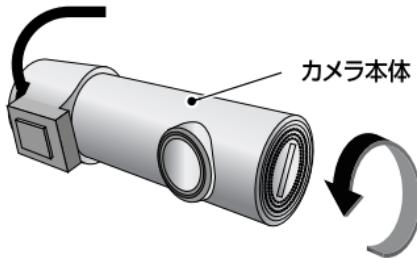
本体取り付け方法



カメラ角度調整

カメラ本体部分を回すことで、角度の調整ができます。

※レンズ部分には触れないでください



⚠ ご注意

- ・走行中、運転者によるカメラ角度調整や操作は絶対に行わないでください。
 - ・運転者の視界を妨げないように取り付けをしてください。
 - ・取り付けの際、各ケーブル類に無理な力がかかるないようにしてください。
 - ・車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
 - ・カメラ角度調整を行う際、本体全体を持って調整してください。
 - ・紫外線の影響により、本体が色褪せする場合があります。
 - ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
- ※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・上記の警告・注意に従わない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

取り付けについて（つづき）

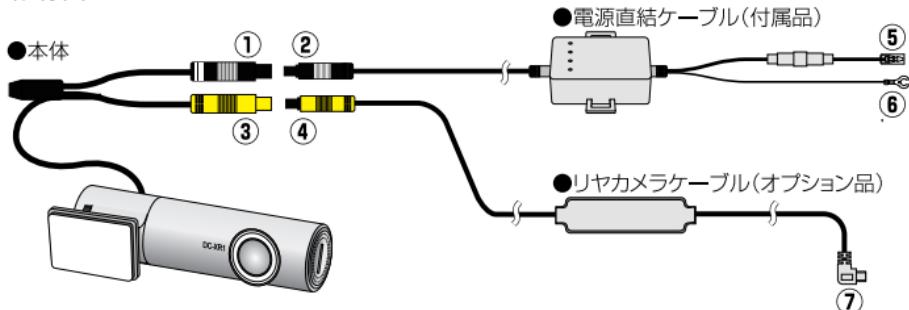
各種ケーブルの接続

本体と各種ケーブル類を接続します。

ケーブルは以下の通り、各用途によって差込口が異なりますので、ご注意ください。

※各プラグには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。形状を確認して接続してください。

<配線図>



<電源直結ケーブルの接続>

黒プラグ①+黒プラグ②を接続します。

電源直結ケーブルの⑤を車両側のアクセサリー線に接続します。

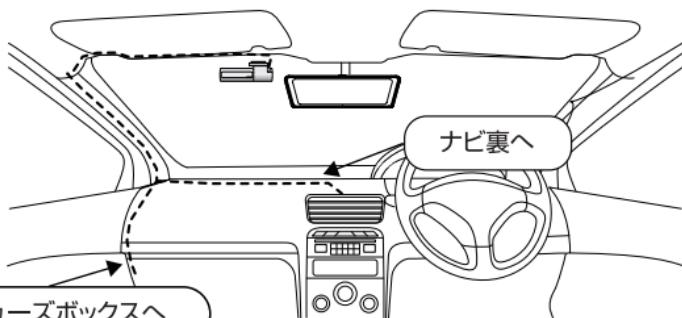
電源直結ケーブルの⑥を車両側のアース(GND)に接続します。

<リヤカメラ(オプション品)の接続>

黄プラグ③+黄プラグ④を接続します。

リヤカメラケーブルの⑦をリヤカメラ本体のUSB端子に接続します。

配線例(イメージ) ※ヒューズボックスまたはナビ裏への配線例

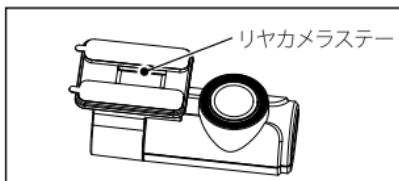


取り付けについて（つづき）

リヤカメラ（オプション品）取り付け方法

<取付方法>

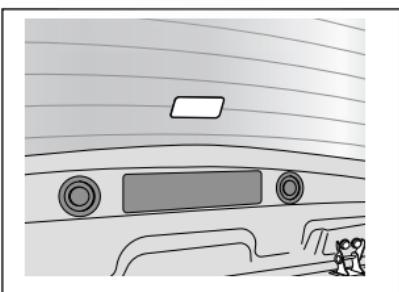
- 1.リヤカメラの設置場所を決め、リヤカメラステーを後部ガラスに貼り付けます。
※貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます
※粘着力を高めるため、リヤカメラ本体を取り付け後、24時間放置することをお勧めいたします



リヤカメラステーは、リヤカメラ本体から
スライドさせることで取り外しができます



粘着シートを取り外す



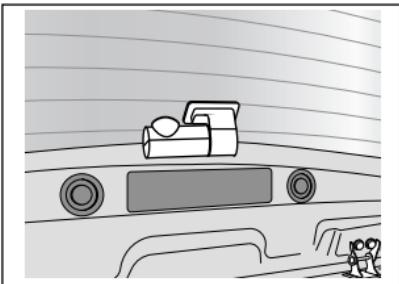
後部ガラスにしっかりと貼り付けます



熱線

リヤウインドウの熱線を避けてステーを貼り付けて
ください。
ステー（両面テープ）を剥がす際、熱線を破損させる
場合がありますので、ご注意ください。

2.リヤカメラをステーに取り付けます。



リヤカメラをステーに
スライドさせながら取り付けます

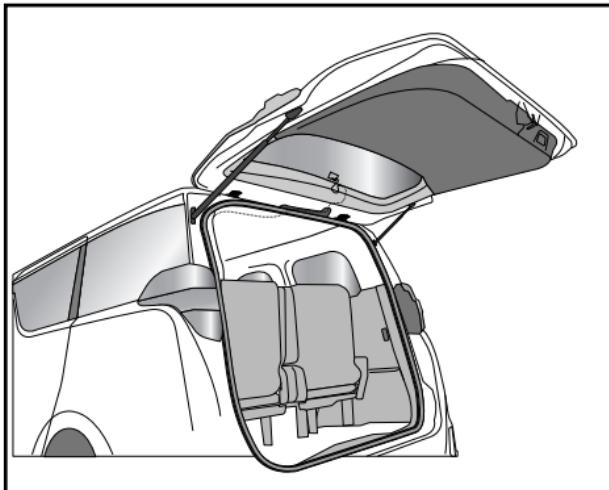


リヤカメラは回転することで
角度を調整することができます。
※必ずステー部分を支えながら
調整してください

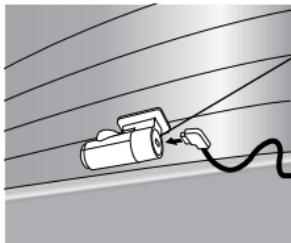
取り付けについて（つづき）

リヤカメラ（オプション品）取り付け方法

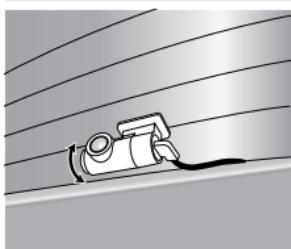
3.リヤカメラケーブルをリヤウィンドウまで配線します。



4.リヤカメラ接続ケーブルをリヤカメラ本体のUSBポート（端子）に接続します。



USBポート（リヤカメラケーブル接続口）



リヤウィンドウの上部に貼り付け、角度調整することで、最適の映像を録画できます。

※カメラの角度調整をする場合は、カメラ本体を支えながら調整してください
(無理に回すとステーから外れる可能性があります)

取り付けについて（つづき）

リヤカメラ（オプション品）取り付け方法

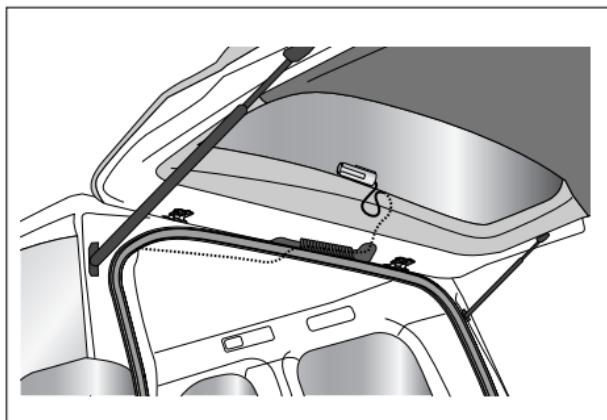
5.バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認してください。

※リヤカメラおよびケーブルが損傷すると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因になります

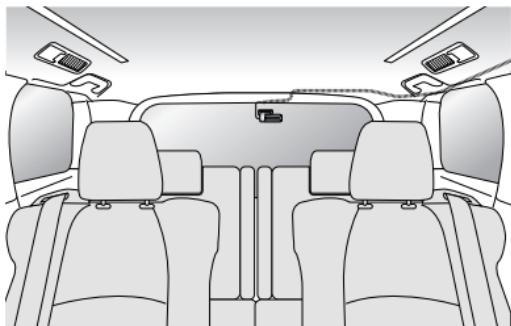
※実際の映像を確認しながら取り付けをしてください

配線例（イメージ）

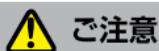
車室外からのイメージ



車室内からのイメージ



取り付けについて（つづき）



ご注意

- ・安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないよう設置および配線をしてください。
- ・すべての付属品を接続してから、電源を入れてください。
- ・本機に電源が入っている状態で、リヤカメラケーブルを抜くと、システムエラーが発生し、正常に録画できなくなりますので、電源が入っている状態でリヤカメラケーブルの抜き差しを行わないでください。故障の原因となります。
- ・電源オンの状態で、付属品を接続すると、誤動作したり、故障する可能性がありますので、おやめください。
- ・リヤカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまにならないことを確認してから、取り付けてください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体が後部ガラスにきちんと貼り付いてないと剥がれることがあります。
- ・取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- ・高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、後部ガラスの各種アンテナに干渉し、テレビやラジオの受信感度が低下する場合があります。その場合は、各種アンテナから50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。
- ・各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や衝突回避支援システム（カメラやセンサー類）、エアバッグ、ETC等の機能が妨げられないように取り付けを行ってください。
※詳細は車両の取扱説明書を参照ください
- ・上記の警告・注意に従われない場合や誤った使い方、または分解・改造された際の事故、故障、破損などにつきましては、弊社では一切その責任は負いかねます。

電源オン/オフについて

本機は、車両のエンジン（ACC）始動と連動して電源がオンまたはオフします。

電源オン

- 車両のエンジン（またはACC）をオンすることで、自動的に電源がオンとなります。録画開始時、「安全運転で交通ルールを守りましょう」の音声を発話します。



ご注意

<電源オフ時のWi-Fi接続について>

- ・Wi-Fi時に本体の電源をオフすると、Wi-Fi接続が解除されます。再度、電源オンした際、自動的にはWi-Fi接続されませんので、手動にて、再度Wi-Fi接続してください。

<アイドリングストップ車での電源オフについて>

- ・アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります（バッテリーや配線を見直してください）。

一部の車種では、車両システムの影響からエンジン連動しない場合があります。あらかじめご了承ください。

<電源オフ/オンのタイミングについて>

- ・本機の電源をオフした直後は、最終録画ファイルのファイナライズとともに内部メモリ保護回路が働くため、オフ直後に再度電源をオンした場合、電源が入らない場合があります。電源をオフにしてから約5秒～10秒以上経過した上で、再度、電源をオンするようにしてください。

<長期間ご使用になられなかった場合>

- ・本機は、バックアップ電源にスーパーキャパシタを搭載しています。本機を長期間ご使用になられなかった場合、エンジンオンしてもすぐに起動せず、スーパーキャパシタへの充電を行ってから、電源が入る仕組みとなります。

※スーパーキャパシタの充電には約2分程度かかる場合があります

専用アプリについて

本機は、専用アプリ「Diletto_edit」を使用して、スマートフォンやタブレットと本機をWi-Fi接続することにより、本機で録画した映像ファイルの再生や操作、各種設定を行うことができます。

以下の仕様を満たしたスマートフォンまたはタブレットで専用アプリを使用することができます。

- **Android : 5、6、7、8、9、10 (Google Play対応)**

※2020年4月現在

※接続するスマートフォン機種によっては、表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください

※お使いのタブレットまたはスマートフォンの操作方法については、各端末の取り扱い説明書を参照してください

専用アプリインストールと接続

1.このアプリはGoogle Playで入手できます。

専用アプリ「Diletto_edit」を検索し、スマートフォンまたはタブレットにインストールします。

2.本体とスマートフォンまたはタブレットをWi-Fi経由でペアリング接続するため、スマートフォンのまたはタブレット「Wi-Fi」設定がオンになっていることを確認してください。

3.インストールした「Diletto_edit」をタップします。



Diletto_edit

4.タップすると、アプリが起動します。



専用アプリについて

5. 「カメラ接続」をタップします。

カメラ接続

6. 注意画面（Wi-Fi接続メッセージ）が表示されます。



7. 「はい」をタップします。

専用アプリについて

8.Wi-Fiのネットワークリストから本機のSSID「DC-XR1-e-*****」を見つけて、ペアリングします。

※本機のデフォルトSSIDは「DC-XR1-e-*****」となります

※「*」部分は設定画面から変更することが可能です



専用アプリについて

9.パスコードを入力し、接続します。

※初期パスコードは「00008231」となります



1.パスコード入力

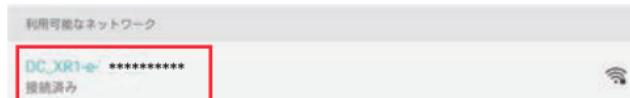


2.パスコード入力後、「接続」

ご注意

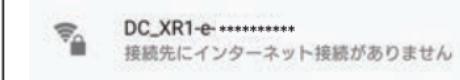
- ・パスコードを変更した場合、必ずメモを取るようにしてください。
- ・変更したWi-Fiパスコードを忘れてしまった場合、Wi-Fiパスコードを含む全ての設定を初期化する専用ソフトウェアをインストールする必要があります。
専用ソフトウェアについては弊社サービスセンターへご連絡ください。

10.接続が完了すると、Wi-Fiのネットワークリストが表示され、接続完了の表示に切り換わります。



ご注意

- ・ご使用のスマートフォンまたはタブレットによって、表示や操作画面が異なる場合があります。
- ・スマートフォンまたはタブレットに以下の画面が表示がされる場合がありますが、接続は完了しているため、「Back（戻る）」ボタンをタップしてください。

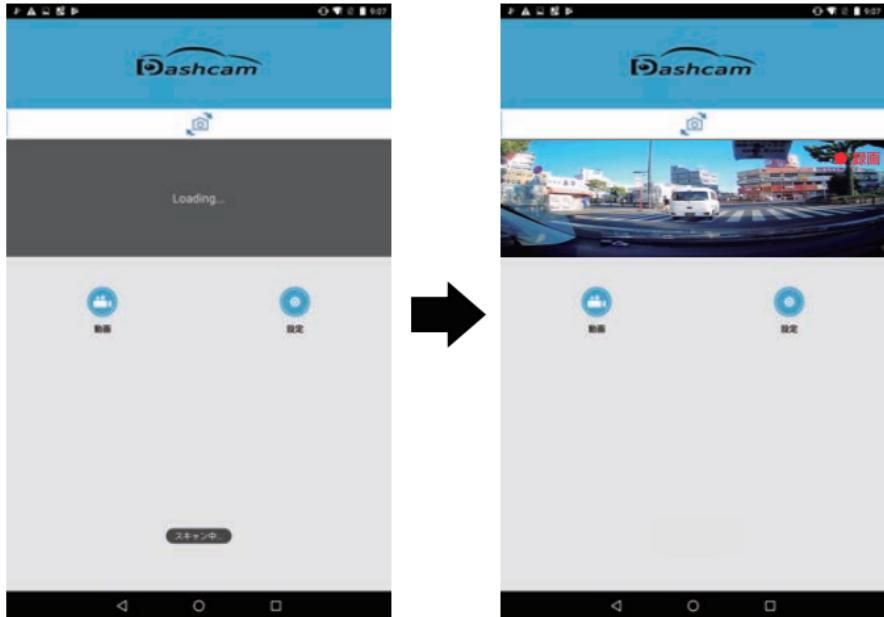


専用アプリについて

11.接続完了したら、スマートフォンまたはタブレットの「Back（戻る）」ボタンをタップします。



12.アプリ画面に切り換わり、自動的に本機とアプリが接続されます。



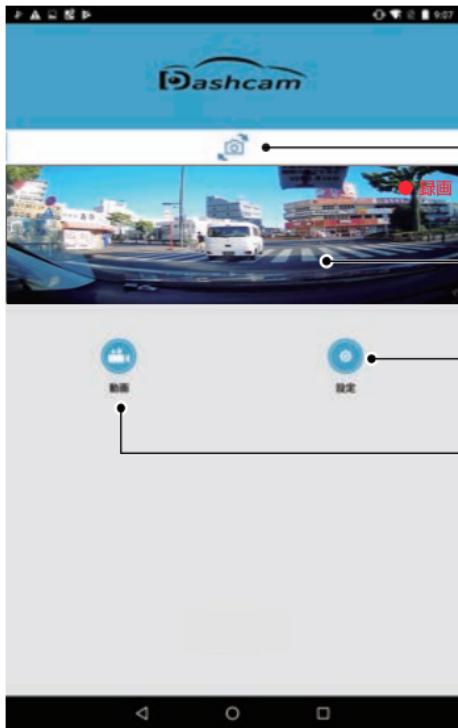
※接続が完了すると、『端末が接続されました』と音声でおしらせします

※アプリを終了し、本体との接続を解除すると、『端末の接続が解除されました』と音声でおしらせします

専用アプリについて

アプリトップ画面

録画した映像ファイルの確認や各種設定を行うアプリのトップ画面。
また、アプリトップ画面では、本体の映像をリアルタイムで表示します。



カメラ切り換え

フロントカメラ映像とリヤカメラ映像を切り替えます。
※カメラ切り替えは、オプション品のリヤカメラを接続している場合に限り操作が有効となります

カメラ映像画面

カメラの映像が表示されます。

設定ボタン

本機の各種設定をおこなう設定画面に切り替えます。

動画再生ボタン

録画した映像を再生するための再生モード画面に切り替えます。

ご注意

- 専用アプリの映像表示は通信状況により、映像表示にタイムラグが発生します。
- 専用アプリと本体を接続している場合、アプリトップ画面で録画中状態になる前に専用アプリを終了させると、録画が停止した状態のままとなります。その場合、エンジンオフ→オンを行うことで、録画を開始します。

専用アプリについて

再生モード画面（一覧表示）

録画した映像ファイルの一覧画面。



選択ボタン

ファイルの選択操作をするサブメニュー画面が表示されます。

選択ボタンをタップしてから、各映像ファイルのサムネイルをタップすることで、個別にファイルを選択することができます。

衝撃検知ファイルボタン

衝撃検知録画の映像ファイルをサムネイル画面に表示します。

ループ録画ボタン

ループ録画の映像ファイルをサムネイル画面に表示します。

映像ファイル画面

録画された映像ファイルを表示します。サムネイルをタップすると、ファイル再生画面に切り替わります。

サムネイル表示

録画された映像ファイルの一覧をサムネイル表示します。サムネイル表示されない場合、画面更新をすると、サムネイルが再表示されます。

日付

録画された映像ファイルの日付が表示されます。

サブメニュー

選択ボタンをタップすると表示されます。ファイルの選択や削除を行うことができます。

●サブメニュー画面



切换ボタン

フロントカメラ映像とリヤカメラ映像の再生ファイルを切り替えます。

全選択ボタン

全てのファイルを選択します。



いいえボタン

サブメニュー画面を閉じます。

消去ボタン

ファイルを消去します。
※ファイルを選択した後に消去してください

専用アプリについて

再生モード画面（ファイル再生）

ファイル再生画面。



録画について

録画

電源が入ると自動的に録画を開始します。

録画中の映像は、専用アプリと接続して、スマートフォンまたはタブレットで確認することができます。

エンジンオンした場合、本体への電源供給とスーパー・キャバシタへの充電を行うため、約5秒後に録画を開始します。



ご注意

- 専用アプリの映像表示は通信状況により、映像表示にタイムラグが発生します。
- 専用アプリと本体を接続している場合、アプリトップ画面で録画中状態になる前に専用アプリを終了させると、録画が停止した状態のままとなります。その場合、エンジンオフ→オンを行うことで、録画を開始します。

録画種別について

録画の種類

ループ録画（常時録画）

設定された1分間/2分間/3分間のループで録画します。microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

→ループ録画時間の設定方法「P37 設定メニュー」

→最大録画可能時間について「P35 録画ファイルについて」

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続	...
-------	-------	-------	-------	-------	------	-----

衝撃検知録画

●衝撃検知録画

常時録画中に、搭載されたGセンサーが衝撃を検知すると、自動的に録画ファイルをロックします。

衝撃を検知した時点により、保存される映像ファイル数が異なります。



▼常時録画の時間設定を「1分」に設定時、動画①⇒②⇒③…とループ録画し続けます。

▼動画②のループ内に事故が発生し、Gセンサーが衝撃を検知、イベント録画が開始されます。

※★1/★2/★3は緊急録画の開始時点

・★1の時点(動画の最初の20秒以内)で事故が発生した場合。

動画①+動画②の合計2つの映像ファイルが保護(ロック)されます。

・★2の時点(動画の最初の20秒と最後の20秒以外)で事故が発生した場合。

動画②の映像ファイルのみ保護(ロック)されます。

・★3の時点(動画の最後の20秒以内)で事故が発生した場合。

動画②+動画③の合計2つの映像ファイルが保護(ロック)されます。



ご注意

・ Gセンサーの感度を調整することが可能です。

→感度の設定方法について「P37 設定メニュー」

録画ファイルについて

録画フォルダ

microSD カードに録画、静止画データ保存される際、以下のようなフォルダ構成となります。

※録画の種別により保存されるフォルダが異なります

USB ドライブ (F)	ルートディレクトリ
Event	衝撃検知録画フォルダ
Normal	ループ録画（常時録画）フォルダ
F	フロントカメラ映像
R	リヤカメラ映像

録画ファイルのファイル名

各フォルダへ保存されるファイルは以下の通りとなります。

フロントカメラ映像とリヤカメラ映像はファイル名が異なります。

| 映像ファイル

FILE190725-123456F.MP4

記録日付

記録時刻

拡張子

FILE : ループ（常時）録画
EMER : 衝撃検知録画

F : フロントカメラで撮影したファイル
R : リヤカメラで撮影したファイル

最大録画可能時間

	録画状態	720P F	720P F/R	1080P F	1080P/F 720P/R
16GB(同梱)	通常録画	約214分	約72分	約109分	約54分
	緊急録画	約91分	約30分	約46分	約23分
32GB	通常録画	約428分	約144分	約218分	約108分
	緊急録画	約182分	約60分	約92分	約46分

※本機は、通常(Normal)フォルダ、イベントフォルダをパーティション分けしています

※リヤカメラ映像の解像度は、720P固定となります

※上記は理論値のため、被写体や撮影条件等により変動します(システムデータ領域も含まれます)



ご注意

- それぞれのフォルダ内に「F」=フロントカメラと「R」=リヤカメラのフォルダがあり、それぞれの映像ファイルが保存されます。
- リヤカメラのファイルは、オプション品のリヤカメラが接続されている場合のみとなります。
- ループ録画データは、保存先フォルダの占有率がいっぱいになると、古いファイルから上書きしますので、大切なデータはあらかじめパソコンへ保存してください。
- 衝撃検知録画データは、保存先フォルダの占有率がいっぱいになると、上書きしないため、次に衝撃を検知した際に録画することができませんので、定期的にバックアップして、SDカード容量を確保してください。

設定画面について

各種設定

本機の各種設定を行います。



- ・各種項目をタップすることで、詳細な設定を行うことができます。

設定メニュー

項目		設定内容
ビデオ解像度	1080P 720P	フロントカメラの記録解像度を設定します。 ※オプション品のリヤカメラは[720P]固定となり、変更できません。
ループ録画時間	1分 2分 3分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。
フリッカレス	50Hz 60Hz	録画時にLED信号灯や蛍光灯などのちらつきを防止します。 ・50Hz：東日本地域の場合に設定します ・60Hz：西日本地域の場合に設定します
音声録音	オン オフ	音声録音します。 音声録音しません。
タイムスタンプ	オン オフ	録画ファイルに録画日時を記録します。 録画ファイルに録画日時を記録しません。
ボリューム	オフ 低 中 高	ボリュームを設定します。 オフ：音声ガイダンスおよびBEEP音は鳴動しません。 低：音量が小さくなります 中：本機での標準的な音量になります 高：音量が大きくなります
衝撃検知	オフ 低 中 高	Gセンサー（衝撃検知）の感度レベルを設定します。 オフ：衝撃検知機能をオフにします 低：衝撃を検出しにくくなります 中：標準的な感度設定 高：衝撃を検出しやすくなります
工場出荷設定	はい／いいえ	設定メニュー項目を全て工場出荷状態に戻します。
カードフォーマット	はい／いいえ	microSDカードをフォーマット（初期化）します。 ※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをPC等でバックアップしてください。
APPファームウェアバージョン	表示のみ	専用アプリのファームウェアバージョンを表示します。
本体ファームウェアバージョン	表示のみ	本機のファームウェアバージョンを表示します。
Wi-Fiパスコード変更		Wi-Fiパスコードを変更します。 ※変更後は、パスコードを忘れないようにご注意ください
SSID名変更		SSID（ネットワークリスト）の名称を変更します。 ※変更後は、SSID名を忘れないようにご注意ください

設定メニュー

Wi-Fiパスコード変更方法

Wi-Fiパスコードは初期値が設定されています。パスコードを変更する場合は、以下の方法で変更することが可能です。

1.設定メニューから「Wi-Fiパスコード変更」をタップします。

2.古い8桁のパスコードを入力します。

※初期設定から変更していない場合は、初期パスコード「**00008231**」を入力します

※初期設定値以外の古いパスコード（お客様が前回設定したパスコード）を忘れた場合、変更することができませんので、ご注意ください

※パスコードを忘れた場合やパスコードが分からぬ場合、専用ソフトウェアを再インストールし直す必要があります（専用ソフトウェアについては弊社サービスセンターへご連絡ください）

3.次に、設定したいパスコードを入力します。

4.確認用として、再度、設定したいパスコードを入力します。

※確認用パスコードが一致しない場合、変更することができません

5.「はい」をタップして、パスコード変更完了となります。



古いパスコードを入力

新しいパスコードを入力

確認用パスコードを入力

決定＝「はい」をタップ

設定をキャンセルしたい場合やこの画面を閉じたい場合、パスコード入力画面以外の画面をタップすると、キャンセル操作となります。

お使いのスマートフォンやタブレットによって、文字入力操作画面が異なる場合があります。



ご注意

- ・パスコードを変更した場合、必ずメモを取り、忘れないようにしてください。古いパスコードを忘れた場合、次回のパスコード変更ができなくなります。

設定メニュー

SSID名変更方法

SSID名は、工場出荷時に初期SSID名が設定されています。これは、Wi-Fi接続する際に本体を識別するために割り振られた固有識別IDとなります。

本製品はSSID名の一部分を任意の名称に変更することができます。パスコードを変更する場合は、以下の方法で変更することが可能です。

1. 設定メニューから「SSID名変更」をタップします。

2. **10桁の数字**を入力します。

※ 10桁以内の任意の数字を入力します

※ 数字以外は入力できません

※ 「DC-XR1-e-*****」の ***** 部分が変更対象となります

3. 「はい」をタップすると決定されます。

4. 変更が完了すると、端末の接続が解除されますので、再度、本体と専用アプリを接続し直します。

→ P.26「専用アプリについて」の手順5以降に沿って接続し直してください



設定したいSSIDを入力(数字のみ)
決定='はい'をタップ

設定をキャンセルしたい場合やこの画面を閉じたい場合、入力画面以外の画面をタップすると、キャンセル操作となります。

お使いのスマートフォンやタブレットによって、文字入力操作画面が異なる場合があります。



ご注意

・接続し直す場合、スマートフォンやタブレットのWi-Fiネットワークリストに表示されるSSID名称表示は、上記手順で変更したSSID名称に切り換わっていますので、忘れないうちにご注意ください。

音声ガイダンス

本機から以下の操作や動作が行われた場合、音声発話にてガイダンスします。

ガイダンス	説明・対処方法
安全運転で交通ルールを守りましょう。	本体起動後、録画を開始するタイミングで発話します。
端末が接続されました。	スマートフォンまたはタブレットとの接続が完了した時に発話します。
端末の接続が解除されました。	スマートフォンまたはタブレットとの接続が解除された時に発話します。
メモリーカードが認識できません。 アプリからフォーマットを行ってください。	microSDカードが読み取れない状態になっています。 microSDカードをフォーマットしてください。 アプリからのフォーマットをしても改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行なってください。
メモリーカードのフォーマットが完了しました。	microSDカードのフォーマットが完了した時に発話します。
ファームウェアアップデートを開始します。 アップデート中は絶対に本体の電源を切らないでください。	本体のファームウェアアップデートを開始する時に発話します。 ファームウェアアップデート中に電源をオフすると正常にアップデートできず、故障の原因となりますので、絶対に電源をオフしないでください。
アップデートが完了しました。 車のエンジンをオフ/オンしてください。	本体のファームウェアアップデートが完了した時に発話されます。
ファームウェアアップデートに失敗しました。 再度アップデートを行ってください。	本体のファームウェアアップデートに失敗したため、再度初めからアップデートを行ってください。 ※何度もアップデートに失敗する場合は、弊社サービスセンターへご連絡ください。



ご注意

- ・ ファームウェアアップ後、音声発話されますが、書き換えのタイミングにより、音声発話が途中で途切れる場合があります。ファームウェアアップデートは正しく完了していますので、異常ではありません。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-10℃～+60℃」温度環境下で使用できます。
	●接続は正しいですか？	●接続を見直してください。
誤作動をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●本機のリセットボタンを押してください。
録画したはずのファイルがない	●常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおすすめします。
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していないませんか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試しください。または、再度microSDカードの抜き差しを行ってください。
	●専用アプリの再生モード画面または設定画面の状態で本体と専用アプリの接続を解除していませんか？	●専用アプリが本体と接続中の場合、アプリトップ画面にしてから接続を解除（本体と端末の通信解除）を行ってください。
	●緊急録画のファイルが上限に達すると、録画することができません。 ※緊急録画ファイルは上書きはしません	●ファイルがいっぱいになつていると、事故発生時など、衝撃を検知した際に録画することができないので、定期的にバックアップして、SDカード容量を確保してください。
音声が出ない	●ボリューム設定がオフになっていませんか？	●設定メニューの「ボリューム」の設定を確認してください。
再起動する場合がある	●アイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。
信号機表示が消えてしまう	—	●映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できることによる事故やトラブルに関しまして、弊社は一切その責任を負いかねます。

トラブルシューティング (つづき)

症状	原因	対処方法
他の車載機に影響が出る(テレビが映らない等)	●本製品の取付場所が、他の製品（アンテナ、レーダーなど）と50cm内に位置していませんか？	●高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。また、ETCアンテナ等から50cm以上離して取付するか、アンテナを離してください。車両の各種センサー装置（安全運転支援装置、各種レーダー等）や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。
microSDカードエラーが発生する	●定期的にmicroSDカードをフォーマットしていますか？ ●microSDカードが正しく挿入されていますか？ ●microSDカードが破損している可能性があります。 ●microSDカードに異常が発生している可能性があります。	●microSDカードをフォーマットしてください。 ●microSDカードを正しく挿入し直してください。 ●microSDカードを交換してください。 ●パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。 ●本機を再起動してください。 ※microSDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください
フォーマットができない	●SDカードに異常が発生している可能性があります。	●パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。 ●microSDカードを交換してください。 ※microSDカードをフォーマットする場合、保存されているデータが消去されますので、ご注意ください
リヤカメラが表示しない	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●リヤカメラは接続されていますか。 ●各ケーブルの接続を見直してください。
画面がちらつく	●各ケーブルの接続が正しく接続されていない可能性があります。	●各ケーブルの接続を見直してください。
緊急録画が頻繁におこなわれる	●Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。	●設定メニューの「衝撃検知」設定にて感度を変更してください。
専用アプリが切断される	—	●Wi-Fi時に本体の電源をオフした場合や工場出荷状態にすると、Wi-Fi接続が解除されます。再度、電源オンした際、自動的にはWi-Fi接続されませんので、手動にて、再度Wi-Fi接続してください。
変更したWi-Fiパスコードを忘れてしまった	—	●Wi-Fiパスコードを含む全ての設定を初期化する専用ソフトウェアをインストールしてください。 専用ソフトウェアについては弊社サービスセンターへご連絡ください。

※スマートフォンまたはタブレットの操作方法については、ご使用のスマートフォン、タブレットの取扱説明書を参照してください。

その他

SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。

定期的なフォーマット(SDカード内を初期化すること)をお勧めします。

※SDカードについておよびフォーマットについてはP.16を参照してください

※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。

そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています

→フォーマットについて[P16 microSDカードについて]

別売品(オプション)

付属品の追加購入につきましては、サービスセンターへお問い合わせください。

●リヤカメラ(TM-1)

専用のリヤカメラを購入することで、前後での撮影が可能となります。

※専用リヤカメラの解像度は720P固定となります

※専用のリヤカメラ以外を接続すると、故障の原因となります

●microSDカード

microSDカードは消耗品となります。microSDカードが使用できなくなった際は、別売品のmicroSDカードをお買い求めください(microSDカードは消耗品のため、保証の対象となりません)。

※市販品のmicroSDカードの使用ができますが、動作不良や故障に対する保証は行なっておりません

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ/折り含む)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

製品仕様

品番	DC-XR1
商品名	ドライブレコーダー
記録媒体	microSDカード（16GB Class10 同梱）
レンズ(フロントカメラ) イメージセンサー	1/2.7型 200万画素CMOS
視野角(画角)	対角:135° /水平115° /垂直60°
F値	2.2
フレームレート	27.5fps
レンズ(リヤカメラ) イメージセンサー	1/4型 100万画素万画素CMOS
視野角(画角)	対角: 115° / 水平: 95° / 垂直: 50°
F値	2.5
フレームレート	25fps
動画記録解像度(フロントカメラ)	1080P (1920×1080P) / 720P (1280×720P)
動画記録解像度(リヤカメラ)	720P (1280×720P)
ファイル形式	.mp4
ループ(常時)録画時間	1分/2分/3分
録画モード	ループ(常時)録画/衝撃検知録画
Gセンサー(通常録画)	高感度/標準/低感度
音声録音	オン/オフ可能
ガイドンス音声	対応
使用電源電圧	12V/24V
消費電力	最大5W
動作温度	-20°C~60°
外形寸法(本体)	約111.5 (W) ×45.4 (H) ×32 (D) mm
外形寸法(リヤカメラ)	約72 (W) ×40 (H) ×28 (D) mm (取り付けステー含む)
重量(本体)	約81g (ケーブル類除く)
重量(リヤカメラ)	約32g (取り付けステー除く)

※リヤカメラはオプション品(TM-1)となりますので、別途お買い求めください

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

※機能改良のため、ファームウェアのアップデートを行う場合があります。詳しくは下記のホームページを参照ください

<http://www.innovativesale.co.jp/>

※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です

Diletto

販売元：株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

<http://www.innovativesale.co.jp/>

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027（通話料がかかります）

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp